

知的財産法 I

科目ナンバリング NFL-201
選択 2単位

徳力 徹也

1. 授業の概要(ねらい)

知的財産法(主として特許法、実用新案法及び意匠法)の概要について、具体的事例を通じて説明します。

2. 授業の到達目標

①本講義は、特許法等について、「法律的な知識に基づき、社会で起きている法現象について、その問題点を的確に把握し、問題解決のための提言を行うことができる」ようになることを目標とします。

②各受講生において、特許法等の基本的考え方＝「どのような発明が何故保護されるのか」「どのような行為がどのような場合に侵害行為になるか(その理由)」などを概ね理解し、実際の事例の検討の方向性を見いだして、他者に説明できるようにすることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に試験結果(70%)、講義参加状況(レポート提出・発表当)(30%)に基づき評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを配布・LMS掲載するので、当該レジメを読んでください。

レジメ記載の課題について、各自が検討し、レポート提出又は発表(適宜指名)してもらいます。

なお、経済活動に係る新聞記事等を読むように努めてください(知的財産に関する記事等がたくさんありますから、是非注目してください。)

6. その他履修上の注意事項

法律の規定を知るのみならず、「何故、そのような取扱いになっているか(趣旨・目的)」などの問題意識を有して受講してください。

なお、講義中の私語を厳禁とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 概要(今後の講義内容・進め方等)
知的財産法の概要(全般)
一なぜ、知的財産(情報)は、保護される必要があるのかー
特許法①(概要)
- 【第2回】 特許法②(発明とは／どのような発明に特許権が与えられるか、など)
- 【第3回】 特許法③(特許権はどのような権利か?特許権侵害はどのような行為か i : 文言侵害)
- 【第4回】 特許法④(特許権侵害はどのような行為か ii : 文言侵害・均等侵害)
- 【第5回】 特許法⑤(特許権侵害はどのような行為か ii : 間接侵害+事例検討)
- 【第6回】 特許法⑥(特許権侵害主張に対する反論:無効・先使用権・権利消尽等)
- 【第7回】 特許法⑦(事例を使った復習 i)
- 【第8回】 特許法⑧(事例を使った復習 ii)
実用新案法
- 【第9回】 意匠法①(概要／意匠とは、など)
- 【第10回】 意匠法②(意匠登録要件／意匠権侵害の概要)
- 【第11回】 意匠法③(意匠権侵害はどのような行為か／具体的な意匠権侵害事例の検討 i)
- 【第12回】 意匠法④(具体的な意匠権侵害事例の検討 ii)
- 【第13回】 意匠法⑤(意匠権侵害主張に対する反論)
- 【第14回】 意匠法⑥(最近の話題+事例を使った復習)
- 【第15回】 まとめと試験